

「原生林とともに生きるウイアク村の人々」 ～ビデオ・写真、タパ展示即売会～

2008年1月5日(土) 午後6時～8時30分
会場 東京ボランティア・市民活動センター会議室A
参加費無料。出入り自由。

JR飯田橋西口下車・地下鉄飯田橋駅B2b出口利用
新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ10階 03-3235-1171

樹皮布のタパは、タパの木の内側の樹皮を叩いて伸ばして文様をつけ彩色した伝統的工芸品です。一枚一枚が手作りで、描く文様もすべてオリジナルで、テーブルクロスやタペストリーなどとして利用できます。

今回展示即売するタパは、パプアニューギニアのオロ州、ウイアク村(マイシン語族)からエコツアー時に持ち帰ったものです。ウイアク村は、伐採企業の圧力をはね除け、原生林を守りながら持続的な社会を営みつつけている美しい村です。マイシン語族の村々は、自給自足の暮らしを営んでいますが、政府の財政難から医療費や学費の住民負担が重くなっており、私たちはエコツアーとタパの販売を通じて、現地住民が必要とする費用の支援を続けています。今回のタパの売り上げも現地で必要な医薬品や学費などの補助として、住民の自治組織(マイカッド～マイシン共同体発展委員会)に基金として提供します。

素晴らしい出来映えの樹皮布タパをぜひご覧いただき、原生林を守り続ける村々の支援にご協力ください。タパだけでなく、ウイアク村エコツアー時に収録したビデオ映像(35分)を数回に分けて放映しますので、ご都合のよろしい時間にお越しください。

お問い合わせ パプアニューギニアとソロモン諸島の森を守る会 事務局長 松本 浩一
png@ps.ksky.ne.jp 携帯 090-2328-8518
展示即売会にご来場いただけない方はカタログ販売でご購入いただけます。詳しくは「森を守る会」HPをご覧ください。
<http://www6.ocn.ne.jp/~png/>

緊急速報

このタパ展示即売会を企画した後、現地から「11月中旬、ウイアク周辺の村々がサイクロンの被害に見舞われ、死者はなかったものの12軒が流され、村々では水や食料が不足している」との連絡が入りました。日本ではほとんど報道されませんでしたが、「11月12日より続いたサイクロンによる豪雨の結果、19日同国オロ州を中心に東部地域にて洪水が発生した。同地域では、家屋、橋梁、道路及び農地等に甚大な被害が出ており、州都ポボンデッタでは橋が崩壊し、陸の孤島になっている模様である。22日現在政府からの公式発表では、死者数71名(報道によれば153名)、被災者数約5万3千名と発表し、その数は今後増加するものと伝えられている。」(日本の外務省発表)とあり、今回の展示即売会では、「サイクロン被害義援金」も募集いたします。ご協力いただければ幸いです。(↓現地からの被災写真)



海沿いにあるウイアク村



子どもたちの様子



エコツアー時小学校訪問



豪雨により氾濫した河川



11月11日展示会の様子